

広沢小だより3月臨時号

令和4年3月22日
京都市立広沢小学校
校長 小林 五月

学校評価アンケート結果のご報告

12月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童は学習用コンピュータを活用して回答しました。保護者の皆様には、例年通りアンケート用紙を配付し、実施しました。回答率97.5%と、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございます。

今回は、第1回と第2回を比較して分析した成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様より書面でいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「学校評価アンケート」から見えてきた本校の成果と課題

「確かな学力」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	第1回	第2回		第1回	第2回	
① 学校は楽しいですか。	93.9%	93.4%	-0.5%	95.5%	92.8%	-2.7%
② すすんで学習にとりこんでいますか。	95.4%	95.0%	-0.4%	81.3%	77.1%	-4.2%
③ テストやプリントの直しを、きちんとやりぬいていますか。	95.6%	94.3%	-1.3%	70.7%	68.1%	-2.6%
④ 学習予定表を見て、学習の準備をしていますか。	97.1%	96.5%	-0.6%	85.1%	87.0%	1.9%
⑤ 学校の勉強はよくわかりますか。	95.9%	95.4%	-0.5%	82.3%	84.6%	2.3%
⑥ 自分の思いや考えを進んでノート等書いていますか。	92.8%	90.7%	-2.1%	75.9%	76.6%	0.7%
⑦ 自分の考えをしっかりと話していますか。	83.7%	83.2%	-0.5%	78.6%	80.3%	1.7%
⑧ 先生や友達の話しっかりと聞いていますか。	96.8%	97.1%	0.3%	83.5%	84.7%	1.2%
⑨ 学習用コンピュータは学習に役立っていますか。	97.4%	96.0%	-1.4%	95.1%	91.0%	-4.1%
⑩ 進んで読書をしていますか。	87.5%	82.3%	-5.2%	61.4%	59.5%	-1.9%
⑪ 進んで宿題にとりこんでいますか。	95.1%	94.8%	-0.3%	73.6%	72.1%	-1.5%
⑫ おうちで宿題以外の学習にとりこんでいますか。	78.8%	82.3%	3.5%	56.4%	54.5%	-1.9%

楽しい学校、進んで学習に取り組もうとする子の育成をめざします。

本校では、「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子～何事にもしなやかで折れない心（レジリエンス）の育成～」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組を進めてきました。

けれども、学校評価①で、児童・保護者の「学校は楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」に対する「そう思う」「だいたいそう思う」の回答率が下がっています。コロナ禍で、休み時間の遊びの制限、放課後遊びの中止、学習でのグループ活動の制限、学校行事の中止や実施方法の変更等、様々な制限があったことも影響があるかと思います。さらに、学校評価アンケート実施後でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、学級閉鎖をしたり、感染の恐れから自宅待機をしていただいたり、「学校へ行きたい」と思うけれども、それが叶わないということがありました。来年度に向け、コロナ禍でも「学校が楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」と思える学校になるように、この後のアンケート結果も踏まえて、今年度の教育活動を見直し・改善していきたいと考えています。



「主体的・対話的で深い学び」が達成できる、楽しく分かる授業をめざし、学力の定着を図ります。

学校評価②では、学習に対しての児童の取組についての評価でした。しかし、今年度も、コロナ禍で保護者の方に授業参観へ来ていただく機会が少なくなり、学習の様子が十分に見えていただけなかったことを大変残念に思います。

本校では、平成29年度より、「自ら進んで自分の思いや考えを伝え合い、学びを深め合う子」という研究主題を設定し、教職員も学びを止めることなく、「楽しくわかる授業づくり」に取り組んできました。その成果として、自分の考えや思いを進んで話そうとし、学び合うことを楽しんでいる児童が増えてきていると思います。

しかし、その一方で、学力調査やジョイントプログラム等の結果や児童の学習の習熟度を分析すると、基礎・基本的な学習をもう一度ていねいに繰り返し行う必要があると考えています。基礎学力をつけるために必要な取組として、「学びタイム」時間を活用して学習の充実を図っていきます。そして、学校運営協議会からもご意見をいただいたように「家庭との連携」「GIGA端末の活用」もより一層進めていきたいと思っています。



GIGA 端末を活用して、学びが深まる学習をめざします。

学校評価③は、第1回は「学習用コンピュータを使って学習することは楽しいですか」という設問でしたが、第2回は「役立っていますか」という設問に変更しました。変更したにも関わらず、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が多く、学習用コンピュータを使っ

ての学習に期待が大きいことが分かりました。今年度、1日1回は GIGA端末を使うことを目標に、日々の健康観察を送信したり学習の中で活用したりして、GIGA端末を使うことに慣れてきました。1年生も使い方をすぐに覚え、スムーズに学習にコンピュータを取り入れられています。また、コロナ禍で十分に活動ができない委員会や、学習発表会等の係活動でも、GIGA端末を活用して高学年の学校のリーダーとしての活動をすすめることができました。

しかし、GIGA端末を活用した学習を取り入れてきたが、GIGA端末を使うことで学びが深まるような活用については、まだ、さらに教員も研修を積み、授業での有効的な活用をめざさなければならないと考えています。

また、3学期に入り、新型コロナウイルス感染により学級閉鎖という事態が続きました。このような事態のために、今年度当初より、学習用コンピュータ（GIGA端末）を持ち帰って、オンラインで学習する練習を進めたり、全児童分の端末カバーを購入し、全員が安全に持ち帰ることができるよう整えたりしてきました。しかし、今回の学級閉鎖は、児童が帰宅



後に決定されたため、GIGA端末を持ち帰ることができないことが多くありました。このようなことが起きないように、普段からGIGA端末を持ち帰り、学校運営協議会でもご指摘いただいたように、さらに家庭でのGIGA端末利用の態勢を整えていく必要があると思います。来年度も、ご家庭にさらにご協力をお願いすることになると思います。どうかよろしくお願いします。

学校図書館の充実をめざし、読書に親しむ子の育成をめざします。

学校評価④では、第1回に比べ、第2回では「そう思う」「だいたいそう思う」と回答している児童が減っています。コロナ禍で、学校図書館の休み時間の利用が制限され、児童が好きな本を自由に借りることができなくなったことが大きいかもしれません。

現在、本校の学校図書館は蔵書が増え、本棚から本があふれている状況にあります。そのような状況を改善するためにも、コロナ禍でも密を防いで学習を進めるためにも、現在1人1台の GIGA 端末を持つようになったためあまり使わなくなったコンピュータールームに一部の本を移動させ、学校図書館の充実を図っていけるようにしたいと思っています。

また、PTA 活動のイエローシートでの収益金や PTA 会費の余剰金で、たくさんの本を購入していただきました。さらに読書に親しんでほしいと思っています。



「豊かな心」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	第1回	第2回		第1回	第2回	
①約束やルールを守って行動できていますか。	97.4%	96.3%	-1.1%	91.9%	91.9%	0.0%
②やさしくていねいな言葉をつかっていますか。	90.1%	91.6%	1.5%	86.3%	87.8%	1.5%
③自分から気持ちのよいあいさつをしていますか。	86.7%	89.9%	3.2%	70.8%	76.2%	5.4%
④おずかしいことでもがんばって挑戦していますか。	92.7%	91.1%	-1.6%	68.3%	67.8%	-0.5%

100点満点のあいさつをめざします。

学校評価⑤のあいさつについては、第1回より、第2回のアンケート結果で「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が増えています。登下校時には、たくさんの地域の方や保護者の皆さまに見守っていただき、あいさつをする習慣が少しずつついてきたのではないかと思います。また、学校でも5月のハッピーデー学習で、「100点満点のあいさつ」について話し合い、朝会等でもあいさつができているか振り返る時間をとってきました。それらの成果として、校内でも普段から児童があいさつする様子が増えてきています。このことを評価して、さらにあいさつをする習慣をつけていきたいと思っています。



レジリエンス(何事にもしなやかで折れない心)の育成をめざします。

学校評価⑥の難しいことへの挑戦については、第2回の結果を見ても、3割の保護者が「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答をされています。

本校の学校教育目標を「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～」としています。本校の児童は、明るく一生懸命真面目に取り組むことができます。しかしその反面、自分が思うようにうまくいかないことや、嫌なことを避けてしまったり、諦めたりしてしまう傾向があるのではないかと思います。そのため、レジリエンスの力をつけることを重点にあげて取り組んできましたが、やはりコロナ禍で学校行事も縮小したり、活動にも制限が多かったりして、がんばり切ることができないことが多かったのではないかと思います。

学校運営協議会から、「難しいこと」というのが明確ではないので、「がんばること」を明確にしてがんばるように、そして、その中で楽しいと感じられたり、難しくてもどうしたらできるか考えたりする取組をしていくとよいのではないかと思います。意見をいただきました。来年度に向け、教職員で話し合って、実践できるようにしていきたいと思っています。



「健やかな体」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	第1回	第2回		第1回	第2回	
①いじめ・なかまはずれしないように、気をつけていますか。	96.8%	98.9%	2.1%	98.0%	97.7%	-0.3%
②ゲーム・テレビの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活していますか。	84.0%	83.5%	-0.5%	60.5%	58.0%	-2.5%
③進んで外遊びをしていますか。	81.7%	84.6%	2.9%	70.0%	69.0%	-1.0%
④好ききらいなく食事をしていますか。	88.3%	88.7%	0.4%	70.7%	75.7%	5.0%
⑤「つま先立ち」をがんばっていますか。	97.4%	97.6%	0.2%			
⑥感染症対策(マスク・手洗い・3密をさけるなど)をしていますか。	94.1%	95.3%	1.2%	96.7%	95.6%	-1.1%

生活を見直し、すこやか生活をめざします。

学校評価⑦の通り、第2回も「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が多いという結果でした。

12月より、京都市PTA連絡協議会で取り組まれている「家族コミュニケーションの日」である毎月16日を、本校で「ノーメディアデー」と定め、電子メディアの使用を控える取組を進めています。まだその成果は表れていませんが、今後もこの取組を続け、児童が健康な生活について考える機会をもつことができるようにしていきたいと思っています。



外遊び・食事の大切さをさらに伝えていきます。

本校では毎月「すこやか週間」を設定し、健康的な生活について考える機会をもってきました。健康的な生活のためには、運動することの大切さ、特に外で遊ぶことの大切さを伝えてきました。学校評価③を見ると、その成果として、児童は意識して積極的に外で遊ぶようになっているように思います。

しかし、コロナ禍で、放課後も授業が終わったらすぐに下校をしたり、運動場での密を避けるために時間を制限したり、密接した状態にならないために禁止した遊びがあったり、十分に遊びを保障することができない状況がありました。児童の体と心の健全な成長のためには、外で、友だちと遊び回ることが必須です。このコロナ禍が一刻も早く終息することを願わずにはられません。

また、学校評価⑨では、第1回より、「好ききらいなく食事をしている」と考える児童・保護者が増えています。毎月の「すこやか週間」での「給食だより」を使った学習や、栄養教諭の田上先生の「食の指導」で、栄養バランスを大切に食事の大切さを学習してきたことが成果となって表れているのではないかと思います。今後も、家庭と連携して、子ども達が食について関心を持ち、楽しんで食事ができるように取り組んでいきたいと思っています。



その他	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	第1回	第2回		第1回	第2回	
①手紙やプリントをきちんとおうちの人に見せていますか。	95.6%	95.3%	-0.3%			
②学校だよりやHPで学校の様子がよくわかりますか。				89.9%	96.8%	6.9%
③学校は地域の特色や人材を生かした取組を行っていますか。				83.1%	86.7%	3.6%
④夢や希望をもっていますか。	92.5%	89.5%	-3.0%	80.8%	79.4%	-1.4%
⑤京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っていますか。				72.9%	71.6%	-1.3%
⑥京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができていますか。				67.9%	62.3%	-5.6%
⑦京都嵯峨学園で連携した教育活動が取り組んでいますか。				68.8%	68.4%	-0.4%

夢や希望がもてる取組・学習を行います。

学校評価⑩では、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が僅かではありますが減りました。本校の学校教育目標は「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子」であるにも関わらず、この結果は非常に残念だと思います。

現代社会の変化で、児童は夢や希望をもちにくい時代であるとされ、キャリア教育が重要になってきています。本校でも、6年間を通して自分の成長をふりかえり、夢や希望について考える機会をもつために、「生き方探究パスポート」を作っています。しかし、その取組が十分に生かされておらず、児童が夢や希望をもつための学習となっていないようです。今後、取組を見直し、キャリア教育にも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

また、学校運営協議会より、「夢や希望を叶えた人からお話を聞く機会を作ってはどうか」という意見をいただきました。5年生の総合的な学習でそのような機会がありますが、全校で話を聞く機会がもてないか、ぜひ考えてみたいと思います。

京都嵯峨学園(4小1中)・地域と連携して教育活動に取り組みます。

コロナ禍で、今年度も十分に地域に出て学習をすることや、地域の方に学校に来ていただいて、いろいろなことを教えていただく機会をもつことができなかった1年でした。また、地域の行事である「ふれあい広場」や「区民運動会」「児・阿刀神社祭礼」「どんど焼き」など、京都嵯峨学園の行事である「相撲大会」等、児童も楽しみにしている行事が中止されました。

来年度は、広沢地域の様々な歴史や特色を学び、児童が地域の方に守られていることを学べるようにしていくことができると考えています。そして、来年度はコロナが終息し、恒例行事が行われることを願いたいと思います。

